

授業や課外授業はとてもレベルが高いと思います。一貫生は、英語は中学3年から、数学は高校2年から習熟度別に授業が行われるので成績の良い生徒にはさらに高度な内容の授業を、成績の振るわない生徒には基礎を固めるための授業が行われます。学期ごとにクラス編成がなされるため勉強すれば標準クラスの生徒が応用クラスに上がることができますし、逆も起こります。生徒の学力を伸ばすのにとっても効率的で良いです。放課後に行われる課外授業は様々な教科やレベルで開講され、授業では手薄になりがちな問題演習の形式が多く、授業と課外授業をうまく組み合わせて学習していけば塾に通わなくても十分な学力が身につくと思います。

また、進路は生徒の自主性を重んじてくれます。生徒の希望を聞き、その生徒の成績を考慮し、的確なアドバイスをしてくれます。私は大学の出願先をどこにするかでとても悩んだので、先生方の親切な対応には非常に感謝しています。

定期テストの合間に行事があり退屈しません。クラスマッチや中学の体育祭、高校の文化祭は協力必須の行事なので終了した後の達成感はとても大きいです。ただ、文化祭では文化部は部活の企画の方で忙しくなるためクラス企画を手伝う時間があまり取れず、クラス内で肩身の狭い思いをすることもあるでしょう。部活は中高ともに化学部に所属していました。あまり活発な部ではありませんでしたが、おもしろい実験から研究発表用の高校範囲を超えた実験を部員が思い思いにやるマイペースな部でとても居心地が良かったです。研修旅行はシンガポールに行きました。2日間のホームステイや企業見学、現地の大学生との交流など個人で行く旅行ではできないような体験ができてとても良かったです。

理科の実験室が生物、物理、化学と3つあり、実験器具が豊富に揃っています。特に中学の生物の授業では様々な生物、植物の顕微鏡を使用した観察のほかカエルやイカの解剖を行うことができ、茨中だからできる貴重な体験だと思います。また図書館の蔵書数も多く、小説の他にも多分野の専門書があるので6年間通っていて飽きませんでした。

茨中は高校受験がないというのが最大の特徴だと思います。高校の授業を先取りして高3時に早めに大学受験の勉強ができた、公立中の生徒が受験勉強をしている期間を茨中生は部活や趣味に使うことができたり、6年間同じコミュニティで生活するため友情は深まり一生の友達と出会うこともできたりします。上記のようなメリットがたくさんありますが高校受験がないために勉強を怠け成績が落ちてしまう生徒が一定数いるので注意が必要です。また先生は優秀な方ばかりですが性格、教え方、生徒への寄り添い方には差があります。人数が多いので自分と馬の合う先生を見つけ、頼れば良いと思います。

大学では専門知識を学び、将来は大学院に進学して研究職に就き、木質資源を再生可能エネルギーとして現実に利用していくために有効な利用方法を研究し、持続可能な社会の実現に貢献したいと考えています。